



第 17 号
 京都教育大学教育学部
 附属桃山中学校
 同窓会 会報
 発行人 会長 瓦谷泰浩
 京都市伏見区桃山井伊掃部東町16
 TEL(075)-611-0264
 FAX(075)-611-0371

ごあいさつ



つゆ草第17号が皆さまのお手元に届くころは桜前線が日本を北上し、我が京都にも桜の便りが届き、街は観光客にあふれ返っている頃でしょう。同窓生の皆さまにはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は同窓会の活動にご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

同窓会では従来より情報化の進展と若い世代の参加を目指して取り組んでおります。情報化につきましては、役員間の連絡にメールの活用などは当然のことですが、ホームページを立ち上げ、情報発信また同窓会員の情報共有などに活用しております。同期会の開催報告や役員会の活動報告そして同窓生の方の催しなど、多くの情報発信をさせていただいておりますので、時々、ホームページを覗いていただきたいと思います。そして、何かありましたらぜひホームページを活用していただきませうようお願いいたします。

さて、本年は3年に一度開催します、同窓会総会、「つゆ草の集い」の年です。24期の法然院貫主梶田真章さ

んの講話や同窓生などによるミニコンサートなど、有意義で楽しい時間を過ごしていただければ幸いです。役員一同知恵を絞っております。多くの方、特に社会の中心でご活躍でお忙しい時間をお過ごしの方、子育てで大変な時間をお過ごしの方、6月13日の夕方、少しの時間忙しい日々の生活を忘れ、中学時代の懐かしい時間に戻って楽しいひと時を過ごそうではありませんか。私をはじめ総会に出席しましたのは、10年以上前、同期の前任の友人から頼まれ、評議員を拝命し、仕方なく、総会に出席しました。しかし何人か先輩後輩の知っている方と同じテーブルで、結構楽しい時間を過ごせたことを思い出します。「一人では」とおっしゃる方、一人でも二人でもお声をかけていただいで、お集まりください。結構楽しい時間を過ごせますよ。多くの方のご参加をお待ちしております。教職員の皆さまも同窓生一同お会いすることを楽しみにしております。是非、足をお運びください。

最後にになりましたが、同窓生の皆さま、母校、附属桃山中学校とお世話になりました教職員の皆さま、そして同窓会の今後一層の発展を祈念いたします。ご挨拶とさせていただきます。

京都教育大学附属桃山中学校
 同窓会会長 瓦谷泰浩(21期)

第14回 つゆ草の集い 京都教育大学附属桃山中学校 同窓会総会

■とき

2015年6月13日(土)
 午後3時 受付開始
 午後4時 開会
 午後7時 終了予定

■ところ

京都ホテルオークラ
<http://okura.kyotohotel.co.jp/>
 中京区河原町御池
 (地下鉄「京都市役所前駅」直結、JR「京都駅」塩小路口からシャトルバスあり)

■会費

社会人 10,000円
 大学生 3,000円
 高校生 1,000円

※ 出欠のお返事は同封葉書にて
5月10日(日)までにお願いします。
 (注) 出席のお返事を頂きながら、当日ご欠席されました際には、会費をご負担頂く場合もありますので、何卒ご了承下さい。

—プログラム—

講演

「こころ豊かに生きる ～ 善人・悪人 ～」

■講師

法然院貫主
梶田 真章 氏(24期)

人を善人と悪人に分けることができるのでしょうか。夏目漱石は小説『こころ』で『善人が急に悪人になるんだから恐ろしいのです。』と述べています。こころ豊かに生きるにはどのような人間観が大切かについて考えてみましょう。



ミニコンサート

The Turkeys (ザ・ターキーズ)

★プロフィール

2001年結成。ヴォーカル、ギター、ウッドベース、ドラムのシンプルな構成でエルビスプレスリーに代表されるようなアメリカの50年代・60年代のオールディーズ、ロックンロール、ロカビリーのナンバーを得意としている。京都・洛西のレストラン「メロディー」でのマンスリーライブを活動の拠点にしながら、伊吹山音楽祭や名古屋「アルマジロ」等の各種イベントやライブハウスにも出演している。

★メンバー：ヴォーカル/ギター：石塚 亮 (46期卒業生)
 ギター：岩井 佑介 (46期卒業生)、他



皆様の多数のご参加を心よりお待ちしております。

京都教育大学附属桃山中学校同窓会

中学校から

8294名の
同窓生のみなさまへ

藤原みつる(副校長)

暖かくなり活動的な季節が巡ってまいりました。同窓会員の皆様におかれましてはますますお元気で活躍のこと存じます。同窓会ご発展をお祝い申し上げますとともに、同窓会誌「つゆ草」の発行、同期会の開催、同窓会HP作成等々、同窓生の環の拡がりにご尽力賜っておりますことに感謝申し上げます。本校では、今年(2015年)3月の第67回卒業式に瓦谷泰浩同窓会長様にご臨席賜り、136名の卒業を祝っていただきました。67歳の本校の全卒業生(同窓会員)は8294名!の喜ばしいご報告をさせていただきます。

本校は生徒一人ひとりに活躍できる場があり、その活躍を認めあえる仲間のいる学校づくりをめざしています。文化・スポーツ両面で多くの表彰をいただいていることも、このような学校づくりが効を奏していると言っても過言ではないかと思っております。一人ひとりの個性が大切にされ、その個性や特性を発揮できる学校であることを誇りに思っています。

ところで本校の学習環境は、ここ数年で大幅に整備されました。平成19年に普通教室棟、平成22年に特別教室棟の耐震改修工事を行い、さらに教育設備の充実も図りました。全教室、冷暖房も完備しています。また平成25年にはグラウンドおよび防球ネットの全面改修を行うことで、グラウンドの水はげがよくなり、ボールが校外へ飛び出すこともなくなりました。さらに26年度は中庭の改修を行っています。中庭にあったプレハブ校舎を撤去し、憩える中庭作りに着手しました。平成5年にプール、平成8年に体育館の改修を終えていますので、校内はすっかり様相を変えた感があります。皆様の母校である本校は、歴史と伝統を重ねながら、一方では進化し続け、すばらしい人材を輩出しています。

このような整った学習環境も、生徒の活躍に二役買っているのではないかとも思いま

す。同窓生の皆様の学習環境充実のご支援の賜と感謝しております。御礼申し上げます。皆様の後輩がこの整った学習環境でさらに力を発揮するよう見守っていただけたら幸いです。

8294名の附属桃山中学校の同窓会員の皆様、桜の花咲く頃、本校の見事な桜を愛でながら、「プチ同窓会」というのはいかがでしょうか。同窓会員の皆様が整備された本校や活躍している後輩たちの姿をご覧いただく機会があれば、と願っております。在校生・教職員一同、お待ちしております。



京都教育大学附属桃山中学校同窓会

同窓生寄稿

最高裁判所に
ついて

田原睦夫(11期)

私は、1969年に大阪弁護士会に登録したあと、倒産やM&Aなど主として経済案件を取扱う弁護士として活動していましたが、縁あって2006年11月1日から2013年4月22日(定年)まで最高裁判所裁判官を勤め、その後、再度大阪弁護士会に登録しました。

最高裁判所裁判官といえ、多くの方は裁判しか念頭に置かれないでしょうが、最高裁判所は、全国2万6千人余の職員を擁する裁判所を統括する行政機関としての職務を担っています。もともと、行政事務の殆どは事務総局に委ねられていて、裁判官は年間1万件余(一小法廷当たり約3500件)の事件処理に追われています。

最高裁判所の裁判官を勤めて強く感じたことは、国民の司法に対する信頼の厚さです。司法が安定して運営されることは、国の安定の基本です。

皆さま方には、司法の社会に果たす役割の重要性について、もっと注目していただきたいと思っています。

また、後輩の諸君には、是非法曹を目指し、将来の我が国の司法を担う人々が輩出することを願って止みません。

世界に挑む サッカー選手と審判員



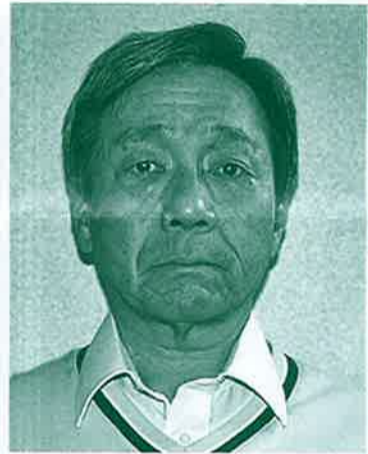
公益財団法人
日本サッカー協会審判委員会
副委員長

小幡真一郎(20期)

最近のサッカー日本代表。
ブラジルワールドカップ1

次ラウンド敗退、アジアカップベスト8敗退など暗い話題が続いています。2016年リオデジャネイロ(ブラジル)でのオリンピック、2018年ロシアでのワールドカップに向けて大丈夫かという声が聞こえてきそうです。日本の選手育成システムは素晴らしく、Jクラブ、町クラブ、学校から海外のチームで活躍している、本田、香川、内田選手らが育っています。それでも世界の進化のスピードに追いつけていません。一つには個の打開力、例えば、不利な苦しい状況でも打ち破れる創造力と体力。失敗を恐れず、他と違うことを恥ずかしながらにチャレンジし、自分で工夫し解決することが求められます。私に関わっている審判育成も同様で、見て、考えて、判断して、アクションするとう過程を繰り返すのですが、ミスを怖がらずに、ミスを認め、改善方法を探すことを大切にしています。選手だけではなく審判の進化も期待してください。

離れていて 見えるもの



生駒一憲(22期)

「それはまだ、長池に長さが十八丁もある大きな池があった頃のことです。」で始まる『長池宿の大蛇退治』「享年間のある年のことである。」で始まる『琉球芋宗匠 島 利兵衛の物語』

私が生まれ育った京都府城陽市長池には、いくつもの古い言い伝えがあります。私は、これらをもとに子供向けの物語を作り、地域の子供たちに語っています。

私は小学生の時から附属に通っていましたが、地域の知り合いは多くありません。地域ボランティアなどは、縁のないことだと思っていました。

しかし、新しく住民となった人はもちろん、長池で育った人たちの中にも、地域の魅力に気づいていない人がいます。桃山の地から長池を見ている私にしか見えないものがあるのかもしれない。六十を迎えた今、私は生まれ育った長池がとても愛おしくなりました。育ちゆく子供たちにも、「郷土の良さを感じ取ってもらいたい。」そんな思いで、地域ボランティアをしています。取り組むことがあるのは、うれしいことです。

附属桃山中学校を 卒業して



片岡拓真(66期)

普段、私はあまり考えたことがなかったのですが、此の

度、勉強や部活動、習い事と、何故充実した生活を送れているのかを、改めて考える機会を与えて頂きました。

考えてみますと、毎日親しくしている仲間の多くに附属桃山中学校で出会っており、私は附属幼稚園の年少からお世話になっておりますから、中には幼稚園からの付き合いもあります。そしてその仲間は勉強が出来るのは勿論のこと、ひとりひとり自分には無いユニークな専売特許を持ち合わせております。私は此の魅力が私達を引き合わせ、毎日充実した生活を送れているわけであると思えます。

それから、此の様な仲間には附属桃山中学校であったからこそ会えたのであり、きっと他では会えないでしょう。貴重な出会いを大切に、これからも互いに切磋琢磨し合う仲間であり続けたいと思っております。

京都教育大学附属桃山中学校同窓会

同期会便り

第3期 (昭和26年卒)



秋晴れのすみわたった空のもと、南禅寺順正にて、平成26年10月10日(金)九十九会を開催しました。

出席者男女合わせて39名。開会の挨拶のあと、故人となられた方々に対して黙禱を捧げました。

乾杯のあとは湯豆腐で有名な「順正」のお料理にみなさん舌鼓を打ち、和やかな宴となりました。近況報告あり、小学校、中学校での唱歌を全員で合唱し、遠い昔にかえって思い出にふけりました。

元気が一番の宝物だと健康に感謝した和気あいあいのひと時でした。

小嶋康博(3期)
森田厚子(3期)

第5期 (昭和28年卒)



第五期生は毎年同期会を催しています。

平成二四年は六月に京都の世界遺産の一つである宇治平等院を拝観し、宇治川河畔の料理店に十七名が集い縁の

深い「源氏物語」などを酒の肴にしながら歓談しました。

平成二五年は五月に大河ドラマ「八重の桜」に因み、京都ホテルが企画したクラスメートの吉田曠二君らが著作した「八重・襄・覚馬」発刊を記念した新島記念館での吉田君や市田ひろみさんらの講演及び食事会に十九名が参加し吉田君の情熱や意欲を称え、時間の経過するの忘れてひとときを過ごしました。

平成二六年(写真)は十月に青蓮院の国宝「青不動」御開帳に因み、回遊式庭園を鑑賞した後に青蓮院殿舎、新しく將軍塚に建立された「青龍殿」を拝観しました。展望台からの山並みや澄みわたった眼下の市街地の絶景を眺望し、小春日和の一日を楽しみました。

喜寿の祝賀を兼ねた懇親会は、青蓮院に隣接する「粟田山荘」で催し、紅葉には少し早い庭園を愛でながら趣きと味わい深い京料理に満喫し、参加者二二名がお互いの元気を確かめ談笑で花を咲かせ和やかなひとときを共有し再会を約しました。

木崎勝夫(5期)

第16期 (昭和39年卒)



京都で一泊の同窓会をしたとき、東京で同窓会を開きたい、会いたい人もいるし...との声があがり、名目幹事を仰せつかりました。まず関東在住の人の名簿確認から。学年に恒常的な幹事をしてくださる水谷さんのような方がいらっしやらないければ到底名簿管理は難しいでしょう。

葉書を出し、最後は電話攻勢。「今回回っておかないと、もう会えない可能性もあるよ」と少々おどす。60を過ぎると冗談事ではありません。卒業以来初

めて声を聞く人もいて、これは幹事冥利かも。

今回は東京出張の日程が重なった長谷川さんを含め12人の参加。場所は広々とした窓から新装なった東京駅が見渡せるKITTEビル。二次会も含め会費6000円で個室確保でき、同窓会にぴったりの会場でした。定年後、大学に通って勉強を続けている人、イタリ語留学、学冒険譚、シニアモデル、司法書士、少年院の子供たちへの心のケアなどなど、少人数ですからみなさんのお話がしっかり聞いてパワーをいただきました。

三次会も丸の内のオープンテラス。東京駅至近距離、リーズナブルな会費がよかったかなと、実質的幹事・谷村さんに感謝。

青山(小西)治美(16期)

第18期 (昭和41年卒)

我々の同窓生仲間のうち、現在、アメリカに、尾関雄二さん(イリノイ州)、平井英夫さん(カルフォルニア州)、Burge(福屋)恵子さん(テキサス州)が在住されています。

2010年(平成22年)11月の『還暦記念同窓会』において、「還暦

を迎え、時間的にも多少都合のつく時期でもあり、アメリカで同窓会をやるうでは」と提案がなされました。皆に呼びかけながら、3年間の準備期間を経て、この2014年(平成26年)4月にアメリカ同窓会の実現となりました。

もありません。平成26年9月27日〜28日のお泊りでびわ湖ホテルで集まりました。右の写真はその時のもので、左は元サッカー部で写したものです。久下君と橋本(和田)さんが音頭取りで、僕も幹事をしました。出席者は26名。そのうち16名がお泊りで、担任だった種村先生をはじめ、全員が夜中1時半

上田耕司(18期)



第19期 (昭和42年卒)

私たちが19期生は毎年幼・小・中の合同で同期会を開いています。が、中学卒業生だけで催すこと



第22期 (昭和45年卒)

までおしゃべりして修学旅行のようでした。東京や愛知県から来た人もいました。27年も何らかの形で同期会は続きます。

土屋宣之(19期)



第25期 (昭和48年卒)

した。一次会では全員が一言ずつ現状を語り合い、4人の先生方から暖かい言葉を頂き、盛り上がった雰囲気のままほぼ全員が二次会に集い還暦の活力で旧交を温めました。又次回元気に逢いましょうと再会を約束しておひらきとなりました。

松井・岡井・高津・田中圭・田中右(22期)



去る平成26年11月22日(土)同窓会が「母校中学校」と「セントノーム京都」で開催されました。

これまで3、4年毎に開催してきた同窓会ですが次回となる還暦(3年後)時に盛大にやるための助走との位置づけでこれまで同窓会に来ていなかった人にも来てもらって「タイムスリップ」の楽しさを感じてもらおうと幹事団一同100名(全員で142名)という高い目標?を掲げて準備を進めました。FB(facebook)で25期同窓生限定サイトを作って中学時代のお宝写真なども掲載したり、当日まずは母校に集まって校内見学会イベントを計画するなどの盛り上げを行った結果、半数超の72名の同級生と、藤林先生、関先生、袖岡先生の担任いただいた3名の恩師にご出席いただき盛会となりました。(中学校見学会では瓦谷同窓会長、藤原先生、溝部先生に大変お世話になりました、この場を借りてお礼申し上げます。)

沢田幹也・河林博美・
上田(前田)五七生・
奥田容子・常田順介(25期)

第62期
(平成22年卒)

卒業より早数年、本年度にて私たちは成人致しました。それを期に、先日、卒業後初めての同窓会を催しました。級友との再会は大変感慨深く、思い出深い話に皆が

花を咲かせておりました。このよ
うな楽しい会を執り行えたのは
附属桃山中学校が母校であるが
故であり、私も非常に思い入る
ところであります。

さて、新成人として社会におい
てより一層の務めを果たす所存で
はございますが、未熟故に至らぬ
点多かろうと思えます。ご迷惑
をお掛けすることもあるかもしれ
ませんが、反省を以て成長に繋げ、
周囲の皆様よりこれまで頂戴した
ご恩に少しでも報いることが出来
るように精一杯努力致しますの
で、温かき目で見守って頂ければ
幸いです。ご愛敬申し上げます。ど
うぞ宜しくお願い申し上げます。

末筆となりましたが、成人に際
して誌面をご用意くださり、大変
ありがとうございました。

秋元拓也(62期)



新しい同窓会員
136名を迎えました

平成27年3月13日(金)第67回卒業式に出席
させていただき、新同窓会員136名の方を
お迎えすることとなりました。前回の「つゆ草
16号」からしますと第65期134名、第66期
134名と404名の新しい会員をお迎えし
たこととなります。新入会員の皆さま、同窓
会員一同、心より歓迎いたします。

この3年間、卒業式に出席させていただ
いておりますが、いつもいつも厳粛な中で楽し
く、そして涙ありの素晴らしい式に感激して
帰ってまいります。そして、校長先生を始め
来賓の方のご祝辞も心打たれるのですが、在
校生の送辞、卒業生の答辞はとも素晴ら
しく、自分たちの時はあんなにしっかりと
いたのだろうか、と思ってしまうほどです。素晴ら
しい式に出席させていただきました。素晴ら
ございました。

皆さまの新しい高校生活、楽しく有意義な
ものでありますよう、心よりお祈り申し上げ
ますとともに、時々附属桃山中学校で過ご
した日々を思い出していただき、集っていただ
きますようお願いいたします。そしてその時、同
窓会を活用していただきましたら幸いです。
さらには世代を超えた交流の場である附属
桃山中学校同窓会にご協力を賜りますよ
う、よろしく申し上げます。

瓦谷泰浩(同窓会会長21期)



【同窓会役員】(平成27年3月1日現在)

会長	21期 瓦谷泰浩	31期 竹中徹男
副会長	20期 龍村薫	19期 森川順子
理事	3期 袋布 照子	22期 田村 直樹
	8期 伊吹 興一郎	22期 田中 真須美
	10期 近藤 秀也	33期 小林 裕直
	13期 安岡 俊爾	41期 篠田 匡史
	13期 百々 恵子	45期 桐村 慶二
	16期 水谷 孝子	51期 山口 真希
	17期 中川 陽之助	
	19期 安岡 雅子	
監事	2期 松井 京子	10期 辻 絢子
顧問・歴代会長	藤原みつる	13期 家村 浩和
	(副校長先生)	10期 辻 絢子
	6期 浦谷 浩平	12期 岡本 茂樹
	2期 奥川 俊史	14期 竹村 一志
	8期 長村 俊平	15期 植松 恒夫
	11期 田原 睦夫	

〈編集後記〉

三寒四温とはよく言ったもので、雪がちらついたかと思えば五月並の日和もあり例年になく気温の乱高下を繰り返す今日この頃でございますが、本紙が皆様のお手元に届くころには気候も落ち着き、まさに春真つ盛りの頃と思いをさせておきます。

さて、今年も来る6月13日(土)に「第14回つゆ草の集い」を開催いたします。講演、ミニコンサートと、同窓会総会ならではの多彩なプログラムを企画しております。日頃お付き合いのある同期、先輩、後輩の皆様とお誘い合わせの上、是非、集いに参加いただきますよう、お願い申し上げます。

本紙では、同窓会顧問の藤原副校長から附属桃山中学校の近況についてご寄稿いただきました。ご寄稿の中で、中学校での「フチ同窓会」のお誘いがありました。校内の満開の桜を愛でながら、着実に進歩しつつある母校の姿と自らの若かりし「中坊」時代の思い出を肴に一献酌み交わすのも、また格別ではないでしょうか。幹事の皆様、企画に加えていただければ幸いです。

今回もたくさんの記事と同期会便りをご寄稿頂きましたが、全てを紙面に紹介したいの思いにより、6面で作成いたしました。少々読みにくい紙面ではございますが、盛りだくさんな内容をお楽しみいただければと存じます。

本紙は同窓生の皆様からのご寄稿によって成り立っております。楽しいお写真とともに同窓会にお寄せ下さい。また、本紙をご覧頂きましたご感想や本紙に対するご意見などもお待ちしております。

最後になりましたが、本紙発行にあたり、ご寄稿いただきました藤原先生、田原様、小幡様、生駒様、片岡様、並びに、3、5、16、18、19、22、25、62期の皆様さらに、本紙発行にご尽力いただきました関係者各位に深謝いたします。

本紙編集担当 小林 裕直(33期)